

# 建造物と建築資料の地域性をめぐる考察

～建築・建材・建築資料の保存運動の実例を通して～

加藤雅久（居住技術研究所）

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

1

## 自己紹介

### ・現職

- ・ 居住技術研究所 主宰（2000年～）  
歴史的建造物の保存活用支援（来歴調査，技術調査，保存修理工事監理等）  
建築資料のアーカイブコンサルテーション
- ・ 東京国立博物館客員研究員（2016年～）  
東博本館建築資料の調査研究
- ・ DOCOMOMO Japan 理事（2021年～2026.3）  
DOCOMOMO international 日本支部  
国内モダニズム建築の調査・記録・建築物の選定顕彰
- ・ ・ ・ 歴史的建造物の保存・記録と建築資料アーカイブのコンサル

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

2

## 建造物の「地域性」とは？

### 「個性」と「地域性」

建造物は一品物であり、極端に言えばそれぞれが「地域的」なもの  
しかしそれでは全部になってしまう  
「個性」と「地域性」は区別する必要

### 建造物が「地域資料」とみなされる条件とは？

- A) 環境形成への寄与（単に調和ではなく地域環境を創る，変える）
- B) 地域社会とのかかわり（コミュニティ、地域おこし、地場産業など）
- C) 風土に根差したもの（土着性）  
（自分の関わりにおいては，事例無し）→今回は除外

今回は後半ディスカッションへの話題提供として、建造物と建築資料の地域性に関する5つの問いかけを行う

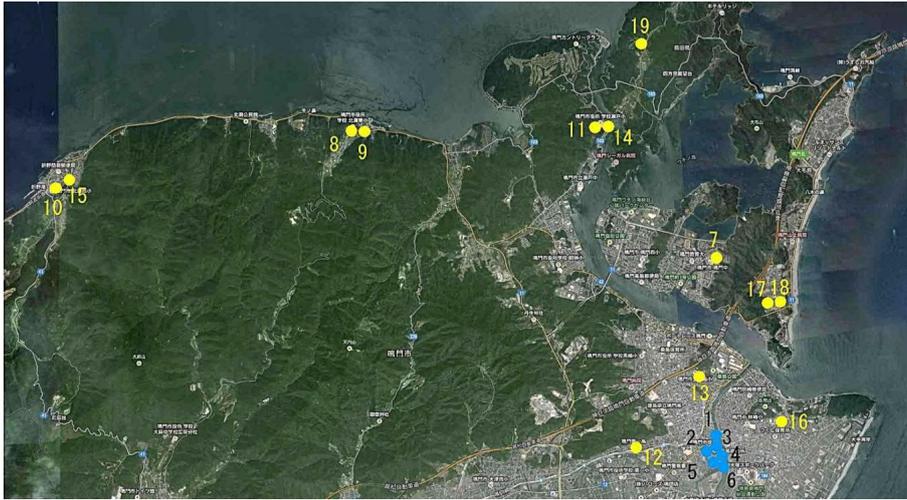
2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

3

# 問 1) 地域はだれのものか

- 鳴門の増田友也建築群：A) 環境形成、B) コミュニティ



- | 行政・文化施設           | 教育・保育施設            |
|-------------------|--------------------|
| ① 鳴門市民会館 (1961)   | ⑦ 鳴門中学校 (1972)     |
| ② 鳴門市庁舎 (1963)    | ⑧ 北灘東小学校 (1972)    |
| ③ 共済会館 (1973)     | ⑨ 北灘東幼稚園 (1973)    |
| ④ 勤労青少年ホーム (1975) | ⑩ 北灘西幼稚園 (1974)    |
| ⑤ 老人福祉センター (1977) | ⑪ 瀬戸幼稚園 (1975)     |
| ⑥ 文化会館 (1982)     | ⑫ 木津保育所 (1975)     |
|                   | ⑬ 桑島幼稚園 (1977)     |
|                   | ⑭ 瀬戸小学校体育館 (1977)  |
|                   | ⑮ 北灘西小学校 (1977)    |
|                   | ⑯ 鳴門第二中学校 (1978)   |
|                   | ⑰ 鳴門東小学校 (1979)    |
|                   | ⑱ 鳴門東幼稚園 (1980)    |
|                   | ⑲ 島田小学校・幼稚園 (1981) |

建築家増田友也の設計  
で鳴門市に建設された  
19の建築群 (1961~82)

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

4

# 問 1) 地域はだれのものか

- かつて鳴門の主幹産業は塩業だった
- 製法転換により1953年から整理縮小，1972年に全塩田の廃止
- 塩田跡地の街づくりとともに「新しい鳴門市像」を模索
- 当時の谷光次市長が京大同窓の増田友也に公共施設の設計を依頼 (行政施設6，保育・教育施設13)
- 増田は19の施設群の設計を通して鳴門の「新しい風景」を創造  
「風景を創造するには，建物だけが目立ってはいけない」と考えた
- ・ ・ ・ 故に「文化的価値」は永らく見いだされず，市民も概ね無関心であった

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

5

# 問 1) 地域はだれのものか

- 鳴門の  
増田友也建築群

(撮影：福田頼人)

①鳴門市民会館(1961)



④勤労青少年ホーム(1975)



⑦鳴門中学校(1972)



②鳴門市庁舎 (1963)



⑤老人福祉センター(1977)



⑧北灘東小学校 (1972)



③共済会館(1973)



⑥鳴門市文化会館(1982)



⑨北灘東幼稚園 (1973)



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

6

# 問 1 ) 地域はだれのものか

## • 鳴門の 増田友也建築群

(撮影：福田頼人)

⑩北灘西幼稚園(1974)



⑬桑島幼稚園(1977)



⑰鳴門東小学校(1979)



⑪瀬戸幼稚園(1975)



⑭瀬戸小学校体育館(1977)



⑱鳴門東幼稚園(1980)



⑫木津保育園(1975)



⑮北灘西小学校(1977)



⑲島田小学校・幼稚園(1981)



⑯鳴門第二中学校(1978)



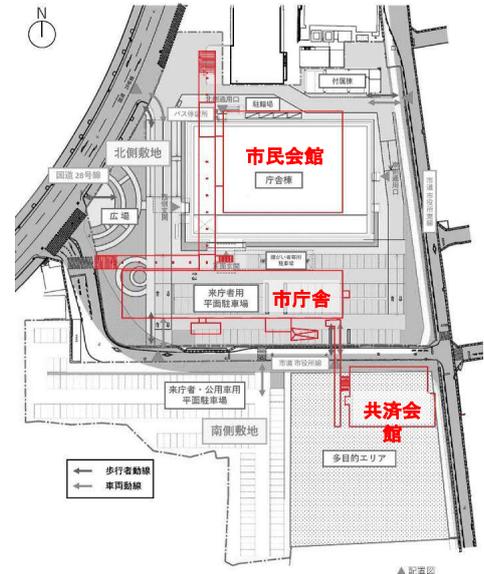
2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

7

# 問 1 ) 地域はだれのものか

- 2016年12月, 市庁舎建替え発表
- 旧市庁舎, 市民会館, 共済会館の3棟は解体されることに
- 2018年11月 「未来の鳴門を考える市民会」発足
- 2018年12月～翌1月 市民会, 勉強会開催(全6回)
- 2019年 2月 DOCOMOMO選定記念講演会(市民会主催)
- 2019年 4月 「増田建築の利活用を考える検討会」開催(市民会主催)
- 2019年 6月 展示会・見学会「徳島の近代建築を見てみよう!」(徳島県建築士会主催)
- 2019年12月 「増田ちゃりんコクラブ」開催, 増田建築を自転車で巡る



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

8

# 問 1 ) 地域はだれのものか

- 2020年 鳴門市民会館の解体前に行政, 市民, メディアによる「送り」と「記録」のプロジェクト  
VR撮影と市HPでの公開  
市所蔵資料と市民提供の写真による「懐かしの風景」展示  
収集した資料のアーカイブ



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

9

## 問1) 地域はだれのものか

2020年10月21日  
～11月3日  
市民会館  
アーカイブ展示会  
「じゃあ、ね。」  
開催



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

10

## 問1) 地域はだれのものか

- 学術界：鳴門市増田友也建築の評価→増田友也の再評価へ
- 鳴門市：アイデンティティ，観光資源としての価値の気付き
- 京都大：所蔵の増田友也資料の活用、整理、公開

地域内での「修理か解体建替えか」から広域的な資源へと発展  
「もはや鳴門市だけのものではない」状態に

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

11

## 問2) 地域資料はだれのものか

- 常滑の旧杉江製陶所：B) 地場産業
- 杉江製陶所：常滑市のINAXライブミュージアム隣地に所在
  - 1832(天保3)創業，1885(明治18)真焼の焼酎瓶を創製
  - 大正後期よりタイル製造，昭和初期の生産量は日本のトップクラス
  - 戦後は「東窯工業」として砥石業に転換
  - 2022年施設解体・更地化と売却に伴う資料レスキュー開始

そもそも・・・

- 常滑の窯業資料の貴重性と地域住民や行政、議会との温度差
- 消失相次ぐ窯、煙突、建物 →地域外で価値が見出される

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

12

## 問2) 地域資料はだれのものか

- 2022年資料レスキュー開始
- 文書と最重要実物資料は「とこなめ陶の森資料館」が先行レスキュー
- やがて国内のタイル愛好家が続々終結し、写真や映像による記録と資料発掘に勤しむ
- 遂に「タイル見本室」3部屋の床・壁タイル全部切出す暴挙に出る
- クラウドファンディングで400万円調達、レジェンド職人を雇って全部救出成功
- 資料館で全部並べて再現展示
- 1部屋分は福祉施設「ワークセンターかじま」の園庭に設置保存

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

13

## 問2) 地域資料はだれのものか

for Good! ソーシャルグッドなクラウドファンディング

はじめる さがす ForGoodとは? NEWS&BLOG ログイン

### クラウドファンディング 杉江製陶所 [見本室タイル] 緊急救出プロジェクト

© 杉江製陶所 [見本室タイル] 緊急救出プロジェクト実行委員会

杉江製陶所  
国際芸術祭「あいち2022」期間中  
とこなめ陶の森資料館  
95年前のタイル見本室  
2022.08.11 (Tue.)  
→10.10 (Mon.) 再現展示 決定!

NEXT GOAL  
450万円  
挑戦中

支援総額  
¥4,287,124  
目標金額 ¥1,000,000

428.71%

1001人 残り 0日

for  
95年前のタイル

プロジェクトの相談をする

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

14

## 問2) 地域資料はだれのものか

解体前のタイル見本室



床タイル採取状況



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

15

## 問2) 地域資料はだれのものか

とこなめ陶の森資料館での展示

ワークセンターかじま  
園庭への移設保存



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

16

## 問2) 地域資料はだれのものか

杉江製陶所 8

• togetterを利用した活動ドキュメンテーション

新着 人気



「常滑の夫婦窯」ほか。

katoikumi 588pv 1 2022年12月7日



杉江製陶所、発掘された石膏型と鑄込み部の出現

katoikumi 1740pv 2 2022年12月6日



常滑クリンカータイル史

明治期  
katoikumi 1425pv 8 更新 2022年12月6日



杉江製陶所の無釉モザイクタイル寄贈先ワークセンターかじまさんと水野製陶園。

初ミーティング!  
katoikumi 957pv 1 3 2022年9月15日



クラファンで救出された95年前の見本室タイルを再現展示! 5月に話題になった常滑の杉江製陶所のモザイクタイルに会いちゃいます。

国慶芸術祭「あいち2022」のサテライト会場、常滑市の陶の森資料館で10月10日まで。入場料無料、土日は常滑...

katoikumi 3965pv 21 51 109 2022年8月24日



とこ業@manekicatnyanさんによる杉江製陶所タイル見本室モデリング

#タイル東窯工業 #杉江製陶所 #タイル見本室

katoikumi 1093pv 2 3 1user 2022年7月5日



解体される巨大木造工場と95年前のタイル見本室。常滑の焼き物産業史が圧縮された東窯工業/杉江製陶所。

お別れ見学会&発掘フェス参加者のべ440人(リピーター多し)のTweet総集編

katoikumi 9549pv 38 66 4users 19 2022年5月10日



「95年前のタイルショールーム」見学会。映画「20世紀少年」のロケにも使われた広大な木造工場のなかにたたずむ「タイル見本室」の中は、ま...

解体前寸前、最後の見学会が5/4~5/7。常滑です。

katoikumi 4136pv 8 7 1user 30 2022年4月28日

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

17

## 問3) 地域は「引越し」できるか?

• 土浦亀城邸 : A) 環境形成

建築家土浦亀城・信子の自邸として1935年上大崎に竣工 都指定文化財  
2022年移築プロジェクト開始→2024年ポーラ青山ビルディング隣に移築

1935年竣工時



写真提供: 土浦亀城アーカイブズ

2025/12/18

2022年移築前



DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

2024年移築後



18

## 問3) 地域は「引越し」できるか？

- 移築と2つの地域性の可視化、相対化  
移築前後両方の3D記録、同構図写真撮影  
移築前現状実測図と移築完了図（竣工図）  
現状変更報告書（移築前後で変えた箇所の詳細を都に提出）
- 移築の是非を後世に問うための「土浦アーカイブ」  
かつて上大崎では「長者丸モダニズム住宅群」を形成  
土浦邸以外は建替えにより喪失、1棟残された状態  
→地域性を喪失した建造物はそれでもその地域にあるべきか否か

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

19

## 問4) 地域性の創出

- ドコモモジャパン選定による地域性の創出と地域おこし成功例  
選定基準を拡張（作品評価主義から群評価、環境形成へ）
- 弘前の前川国男設計建築2棟の選定：B) 地域おこし  
木村産業研究所，弘前中央高校講堂  
→弘前には計10の前川建築が存在  
→弘前市「弘前市の前川建築」サイトとツーリズム
- 松江市モダニズム公共施設群：A) 環境形成、B) 地域おこし  
群選定→菊竹事務所から資料寄贈（新たな地域資料へ）
- ヒルサイドテラス：A) 環境形成  
文化財指定するなら「重伝建」（町並み保存）

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

20

## 問5) 地域との対話の資料化

- 広島基町高層アパート：A) 環境形成、B) コミュニティ  
1969-78年，大高正人設計

写真出典：Wikipedia 撮影者：Taisyo（トリミング）



2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会／加藤

21

## 問5) 地域との対話の資料化

- 建物管理による変容を価値としてどう捉えるか
- 原琉大氏による外部広場のクリンカータイル記録の試み  
(当初タイルと補修による模造モルタルによる変容)
- 自治体や管理事務所などとの対話、改変行為の評価と後補・改変部分の評価
- 調査成果によるアート (ドキュメンテーションのアート化)  
→さらにその展示のドキュメンテーション

2025/12/18

DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

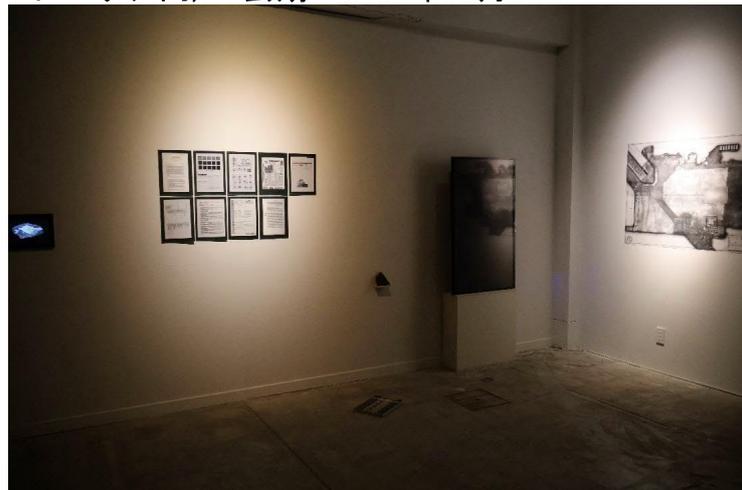
22

## 問5) 地域との対話の資料化

- ハラ リュウタ「オリジナルは誰のもとに? 基町アパートのタイル現況調査報告」  
会場: Unité (市営基町アパートエリア内) 会期: 2025年12月6・7・13・14



2025/12/18



DA学会地域アーカイブ部会12月定例部会/加藤

23